

## 百両の 石にもまけぬ つつじかな (小林一茶)

校長 長江留理子

音戸の瀬戸公園で、ヒラドツツジが美しく咲き誇っています。その姿はみごとなものです。寄り添って咲いている花の一つ一つをよく見ると、みんなそれぞれ個性もっていて、決して同じ色や形ではありません。それでいて全体としては、すばらしい調和をつくり出しています。



新年度のスタートにあたり、9年間の義務教育を担う音戸の学校として、ツツジにちなんで3つのことを、心に留めながら教育活動をしていきたいと思えます。

まず一つ目として、ツツジ一つ一つの花のように、一人一人がもっている個性を大切に、得意なことを伸ばしていきたい。(そのためには基礎学力が必要です)

二つ目に、学校という集団生活の場を通して、まとまりのある行動、責任のある行動がとれるよう、ルールを守るなど発達段階に応じて社会性を身につけさせたい。

三つ目は、自分の心の中に豊かな心を育ててほしい。ツツジを始め美しい草花は私達の心を和ませてくれます。美しいものを美しいと感じる純粋な心を大切にしたいと思えます。

教育は、学校のみのできるものではありません。

この大切な子どもたちの豊かな成長のために、学校・家庭・地域社会で共に育てる「共有」へ広げ、連携を深めていきたいと思えます。

『子どもは、家庭で愛され、学校で学び、地域で育つ』とも言われています。

子どもが学校で、学習のスタートがスムーズにいくよう、家庭では生活面での指導(早寝・早起き・朝ごはんやしつけ、マナーなど)を、よろしくお願いします。

先般、総会で学習指導要領改訂パンフレット(保護者用)「生きる力」を配らせていただきました。その中に「幼児期から義務教育修了までの教育を通じて、学校・家庭・地域が一体となって基本的な生活習慣や社会性の基礎の確立など、すべての子どもが自立して社会で生きていく基礎を育てることが重要・・・」とあります。

いつの時代も、子育ての最終目標は、自立にあります。

自立に向けて、学校・家庭がそれぞれの果たすべき役割をしっかりと果し、連携してかけがえのない子どもの未来をつくっていきましょう。そのためにはPTA活動にも積極的に参加していただき、みんなで子どもにかかわっていきましょう。